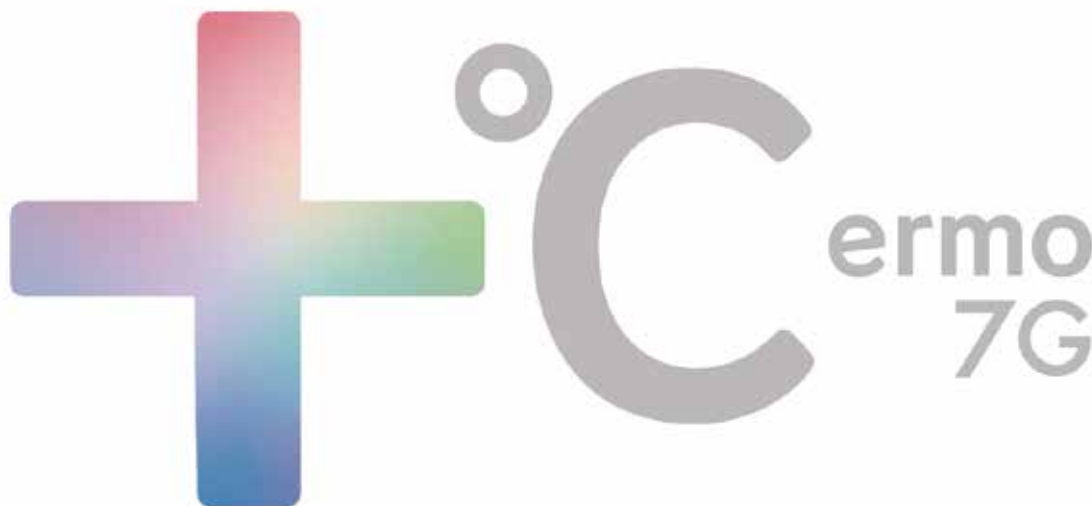


最高基準「断熱等級 7」の高断熱住宅、 「+°Cermo 7G (プラスサーモ セブンジー)」をリリース。



「フルフル、フルフル、フル装備♪」のテレビCMでおなじみの泉北ホーム株式会社（本社：大阪府堺市中区深井中町 3211、代表取締役：山本 隆）は、2022 年 10 月施行「断熱等性能等級」（以下、断熱等級）改定に伴い新設された、最高基準「断熱等級 7」に対応する『+°Cermo7G (プラスサーモ セブンジー)』を 11 月 1 日（水）に発売開始。

※建築地やプラン、採用する仕様等によっては対応できない場合があります

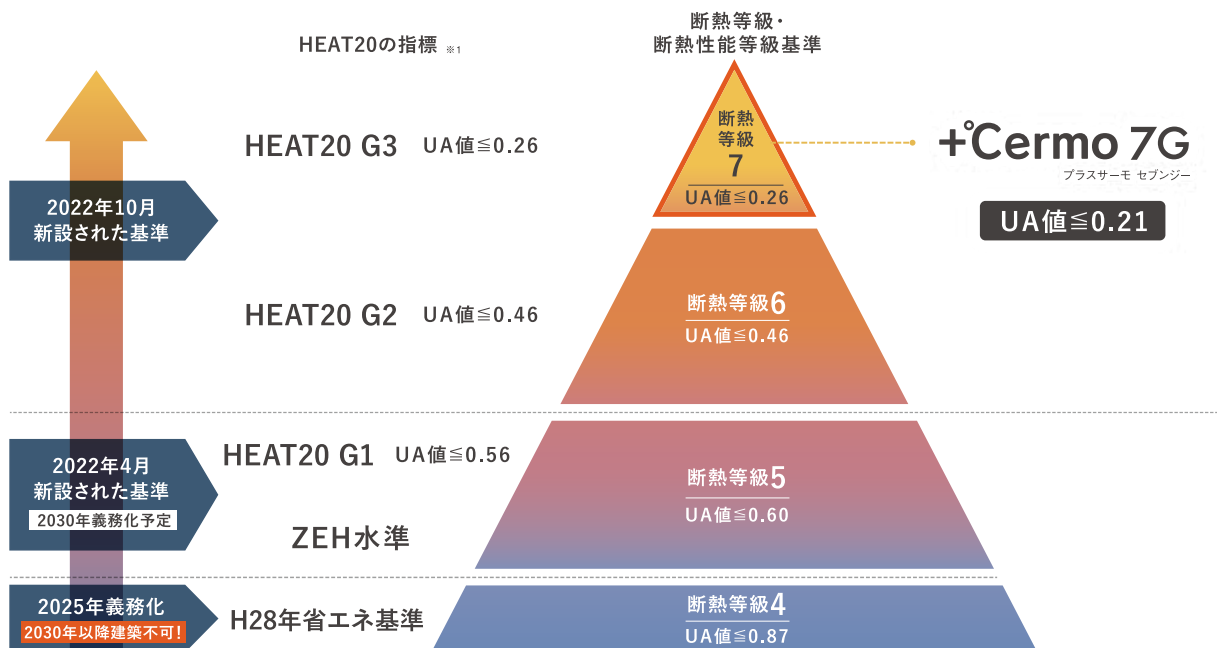
最高基準「断熱等級 7」新設。

「2050 年カーボンニュートラル」実現への取り組みのひとつとして、2022 年の断熱等級改訂に伴い、上位等級「断熱等級 5」「断熱等級 6」「断熱等級 7」が新設されました。

2025 年には全ての新築住宅に断熱等級 4 以上が義務化され、近年まで最高基準だった断熱等級 4 は最低基準になることが予定されています。さらに 2030 年には、断熱等級 5 が最低基準になる予定です。つまり、これから家を建てるなら断熱等級 5 をクリアできることは必須条件となります。国も住宅の高断熱化に向けて動き出している中、泉北ホームでは最高基準である「断熱等級 7」に対応した『+°Cermo7G』を開発。当社の主力商品であるプレミアムパッケージにプラスできるオプション商品です。



暮らしを変える、未来を変える、 最先端の高断熱住宅。



HEAT20の指標、断熱性能等級基準は地域区分6の場合
 ※1: HEAT20とは一般社団法人 20年先を見据えた日本の高断熱住宅研究会が設けた独自の指標
 ※2: UA値は当社モデルプランにて算出

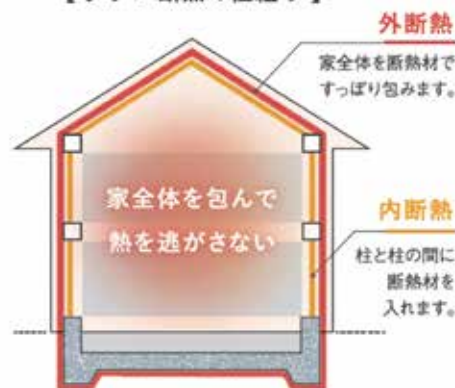
『+Cermo7G』は、「暮らしを変える、未来を変える、最先端の高断熱住宅」をコンセプトにした最高基準・断熱等級7対応の商品です。快適性と省エネ性の両立がかなう高い断熱性能で、人にも地球にも優しい住宅を実現します。

『+Cermo7G』は、UA値0.21、 ダブル断熱で断熱等級7を実現!!

「断熱等級7」の実現には、断熱材はもちろん、窓や玄関ドアなど熱の通り道になりやすい箇所すべてに対して対策が必要です。あらゆる箇所を研究し、対策を施すことで、断熱等級7となるUA値0.21 C値0.50を実現。(*2)

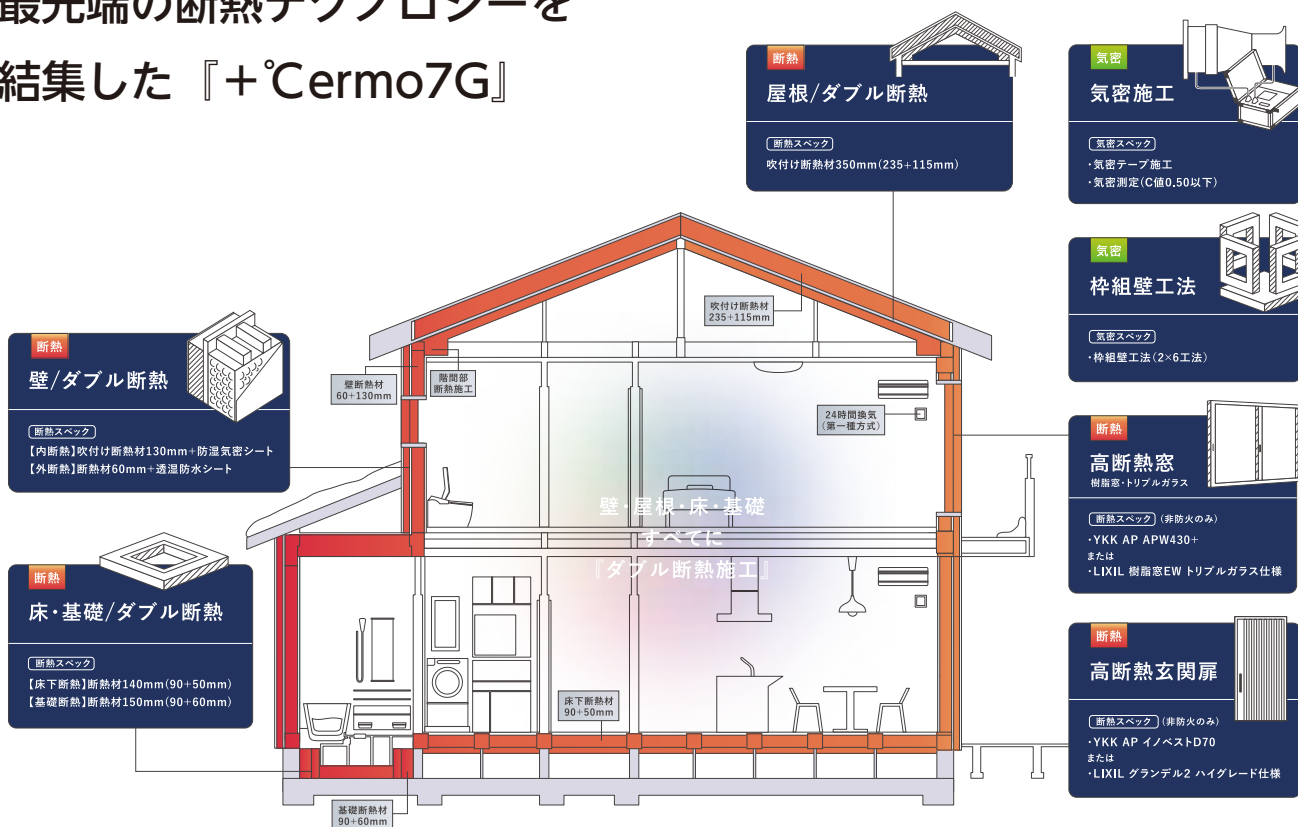
その施工のひとつがダブル断熱。その壁の内側に入れる内断熱と、壁の外側から貼る外断熱を両方施工します。『+Cermo7G』では、壁・屋根・床・基礎すべてをダブル断熱にすることで断熱性能を高めています。

【ダブル断熱の仕組み】



*2: UA値は当社モデルハウスプランにて算出。C値は社内基準値(平面形状、屋根形状、下屋の有無、施工面積、開口部面積等によりC値0.50以下とならない場合があります)

最先端の断熱テクノロジーを 結集した『+°Cermo7G』



開口部（窓、ドア）における熱の流失入は家全体の6～7割とされ、壁や屋根に比べても大きな割合を占めます。『+°Cermo7G』では、アルミと比較して熱伝導率が約1000分の1の樹脂を使用した窓サッシを採用。玄関扉は、一般的な玄関扉よりも4倍の断熱性能を持つ樹脂複合枠の玄関扉を採用。国内トップを誇る大手メーカー2社の最上位モデルからデザイン・カラーを選択可能。



YKK AP 最上位 **YKK AP** **APW 430+** プラス 高性能トリプルガラス樹脂窓

樹脂サッシ内に断熱材を配置し、トリプルガラスの中空層には熱伝導率が低いクリアンガラスを封入することで、断熱性・気密性を実現。
(熱貫流率 / U 値 0.78W / m² · K)



LIXIL 最上位 **LIXIL** 樹脂窓EW トリプルガラス仕様

熱を伝えにくいLow-Eガラスを採用し、さらにトリプルガラスの中間に特殊薄板ガラスを採用することで断熱性能と軽さを実現。
(熱貫流率 / U 値 0.79W / m² · K)

YKK AP 最上位 **YKK AP** **イノベストD70**

断熱性、意匠性、使い心地すべてにおいてハイクオリティな高断熱玄関扉。
(熱貫流率 / U 値 0.90W / m² · K)



LIXIL 最上位 **LIXIL** **グランデル2** ハイグレード仕様

上枠と縦枠に熱を伝えにくい樹脂を採用し、中空内に断熱材を入れた高断熱玄関扉
(熱貫流率 / U 値 0.79W / m² · K)



SENBOKU HOME

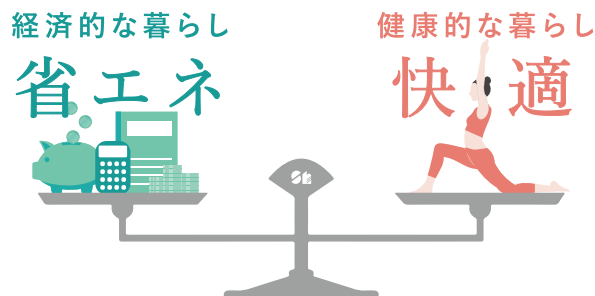
www.senbokuhome.co.jp

寒さの我慢も光熱費の心配もない

『+°Cermo7G』の暮らし

日本の家は、先進国の中でも圧倒的に断熱性能が低く、ストーブやコタツで人がいる場所だけ部分的に暖める「採暖」で冬の寒さをしのいできました。日本の家に多い現行基準の断熱等級 4、もしくはそれ以下の断熱性以下の家では、家中を暖めようとするエネルギーを多く必要とし、光熱費がかさむため「採暖」暮らしになってしまうのです。対して欧米諸国では、家全体を暖める「全体暖房」が主流です。家中どこにいても暖かく過ごすことができるため、身体への負担がありません。

断熱等級 7 の『+°Cermo7G』は、断熱性能が高いため、欧米のように「全体暖房」をしても「断熱等級 4 の採暖暮らし」よりも、エネルギーを消費することなく快適な室温を保つことができます。つまり省エネと健康・快適を両立することができるのです。



省エネな高断熱住宅で、 人にも地球にもやさしく。

いま家庭では、光熱費の高騰が家計を圧迫しています。そんな中、電気代の節約につながる高断熱住宅への関心が高まっています。一方で地球全体では、酷暑や台風激甚化などの気候危機が、私たちの暮らしに影響を及ぼしています。気温上昇と、それによる甚大な被害を食い止めるため、「2050年カーボンニュートラル」実現への取り組みが急務となっています。健康的で快適な暮らし、そして地球環境のためには、住宅の高断熱化・省エネ化が必要不可欠なのです。

商品概要

商品名	: +°Cermo7G
構造・工法	: 枠組壁工法(2×6工法)
耐震性能	: 耐震等級3(許容応力度計算による)
断熱性能	: UA値0.21
気密性能	: C値0.50
窓サッシ	: YKKAP APW430+ または LIXIL 樹脂窓 EW(トリプルガラス)
販売エリア	: 関西(一部地域を除く)
発売日	: 2023年11月1日(水)

取り上げていただけるメディアご担当者の皆様、取材や写真素材の提供など
対応可能ですので、お気軽にご連絡ください。

【お問い合わせ先】 泉北ホーム株式会社 経営企画室 keiei@senbokuhome.co.jp

泉北ホーム株式会社

所在地: 大阪府堺市中区深井中町 3211

代表者: 代表取締役社長 山本 隆

設立: 昭和 51 年

事業内容: 注文住宅およびマンションの設計、

インテリアコーディネート、施工、不動産全般、管理、保険代理店



SENBOKU HOME

www.senbokuhome.co.jp